

「日本を元気にする産業技術会議」提言

「日本を元気にする産業技術会議」では、2011年10月の発足以来20回を超えるシンポジウム、インテレクチャルカフェの場を通じて、エネルギー・資源、革新的医療・創薬、先端技術・製造技術、IT・サービステクノロジーの各技術開発分野並びに人材育成、国際標準化の横断的分野において議論を重ね、日本経済の閉塞感を打破するための提言をまとめました。提言の骨子を以下に記します。なお、詳細に関しましてはホームページをご参照下さい。

http://www.aist-renkeisensya.jp/ind_tech_council/proposal/

提言メッセージ

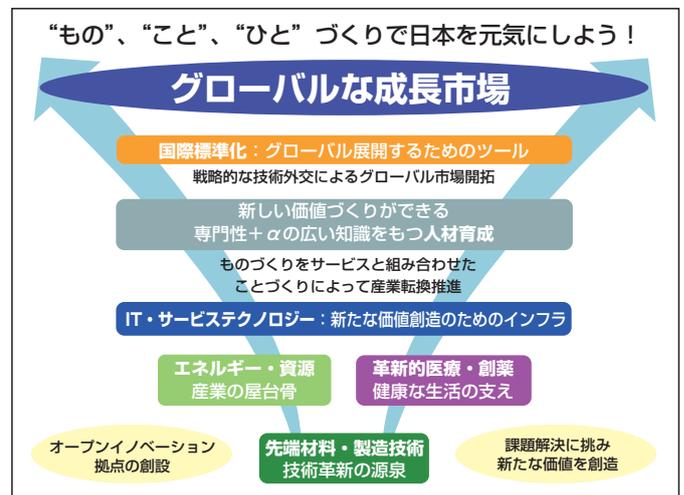
“もの”、“こと”、“ひと” づくりで日本を元気にしよう！

総括提言

- ① 俊敏なオープンイノベーションの推進によりグローバルな成長市場をつかめ
- ② グローバル課題の解決に率先して挑み、世界が必要とする新しい価値を創造しよう
- ③ ものづくり一辺倒から脱し、新しい価値作り（ことづくり）重視へ、産業の転換を進めよう
- ④ イノベーション拠点を国内に創設し、産業のグローバル展開が国内にも高度人材の雇用を増す成長の道筋を見つけよう
- ⑤ プロデューサー型の才能を育て、人材の開国を急ごう

分野別提言

- エネルギー・資源 ～日本の危機克服、世界に貢献～
 1. 再生可能エネルギーを中心に分散型電源の技術に磨きをかけ国際競争力を高めよう。
 2. 省エネ型の社会インフラ（スマート・エネルギー・インフラ）技術を開発・普及させ海外へのパッケージ型輸出を目指そう。
 3. 資源探査・掘削の自前技術の蓄積に努めるとともに国内資源の状況を正確に把握する調査を推進しよう。
- 革新的医療・創薬 ～豊かな高齢化社会へ技術力結集～
 1. 創薬プロセスの効率化を通じ革新的創薬を生み出そう。
 2. 世界に先駆けて再生医療の産業化を加速しよう。
 3. 元気な高齢化社会をつくる医療機器の実用化に取り組もう。
- 先端材料・製造技術 ～ものづくり王国復活へ～
 1. ナノテクノロジーの応用でものづくりを革新しよう。
 2. 分散型資源に立脚した新しいものづくり（グリーン分散型ものづくり）を追求しよう。
 3. 自立分散型生産システムで顧客視点を重視したものに挑もう。
- IT・サービステクノロジー ～データ革命で価値づくり～
 1. もの・ことづくりを目指して「サービステクノロジー」の研究開発と活用に取り組もう。
 2. 情報（データ）をヒト、モノ、カネに次ぐ経営資源として活用し新ビジネスを創造しよう。
 3. ビッグデータを活用するための情報セキュリティ技術を開発・利用しよう。
- 人材育成 ～創造力は多様な個性から～
 1. オープンイノベーションに挑む視野の広い高度技術人材を育てるため産学官の連携による「人材育成オープンプラットフォーム」を創設しよう。
 2. グローバル課題に挑む人材の育成に向け大学や公的研究機関は英語を公用語化するなど「人材開国」に取り組もう。
- 国際標準化 ～知財大国へ「技術外交」強化～
 1. 企業は最高標準化戦略責任者（チーフ・スタンダード・オフィサー、CSO）を任命し国際標準化戦略を事業戦略に直結させよう。
 2. 国際的な存在感のある認証機関を産学官連携で育てよう。



提言イメージ